

食品安全情報（微生物） No.25 / 2023（2023.12.06）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

【[米国疾病予防管理センター（US CDC）](#)】

1. 桃、ネクタリンおよびプラムに関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023年11月20日付初発情報）
2. カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Sundsvall および *S. Oranienburg*）感染アウトブレイク（2023年11月30日、24日付更新情報）

【[カナダ公衆衛生局（PHAC）](#)】

1. 公衆衛生通知：Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンに関連して発生しているサルモネラ（*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg*）感染アウトブレイク（2023年12月1日、11月24日、22日付更新情報）

【[欧州疾病予防管理センター（ECDC）](#)／[欧州食品安全機関（EFSA）](#)】

1. 欧州連合（EU）域内のヒト、動物および食品由来の人獣共通感染症細菌と指標細菌の抗菌剤耐性に関する年次要約報告書（2019／2020年）

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

【[アイルランド食品安全局（FSAI）](#)】

1. 北アイルランド公務員組合（NIPSA）のストライキ実施を受けアイルランド食品安全局（FSAI）は北アイルランドに国境管理所経由で食品を輸入している全ての食品事業者向けに助言を発表

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

1. 桃、ネクタリンおよびプラムに関連して複数州にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイク (2023 年 11 月 20 日付初発情報)

Listeria Outbreak Linked to Peaches, Nectarines, and Plums

Posted November 20, 2023

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/peaches-11-23/index.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/peaches-11-23/details.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/peaches-11-23/map.html> (Map)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

疫学調査および検査機関での検査によるデータは、HMC Farms 社の桃・ネクタリン・プラムがリステリアに汚染されている可能性があり、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

○ 疫学データ

2023 年 11 月 17 日時点で、リステリア (*L. monocytogenes*) アウトブレイク株に感染した患者計 11 人が 7 州から報告されている (図)。患者からの検体採取日は 2018 年 8 月 22 日～2023 年 8 月 16 日である。情報が得られた患者 10 人は全員が入院した。患者 1 人は妊娠中に感染し早期陣痛を呈した。カリフォルニア州から死亡者 1 人が報告されている。

1 3

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（**n** は当該情報が得られた患者の数）。

3

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 7 人は全員（100%）が、桃、ネクタリンまたはプラムの喫食を報告した。

CDC は、症例症例解析（case-case analysis）を実施し、「本アウトブレイクの患者が喫食を報告した食品」と、「本アウトブレイクとは関連しない散発性リステリア症患者が喫食を報告した食品」の比較を行った。この解析により、本アウトブレイクの患者の桃、ネクタリンまたはプラムの喫食率が散発性リステリア症患者の 18 倍であることが示された（ $p < 0.001$ ）。この結果は、桃・ネクタリン・プラムが本アウトブレイクの感染源である可能性が高いことを示唆している。

○ 検査機関での検査データ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用している。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には WGS（全ゲノムシーケンシング）法により DNA フィンガープリンティングが行われる。

WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離されたリステリア株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

2023 年 10 月 23 日に FDA は、HMC Farms 社の桃 1 検体を採取しリステリア株を検出した。11 月 6 日、WGS 解析により、当該株が患者由来リステリア株と近縁であることが示された。この結果は、患者がこれらの桃の喫食により感染した可能性が高いことを意味している。

○ 公衆衛生上の措置

2023 年 11 月 17 日、HMC Farms 社は、2022 年および 2023 年のいずれも 5 月 1 日～11 月 15 日の期間に複数の小売店で販売された桃、プラムおよびネクタリン（すべてホール）の回収を開始した（以下 Web ページ参照）。CDC は、当該製品を喫食・販売・提供しないよう注意喚起している。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/hmc-farms-voluntarily-recalls-whole-peaches-plums-and-nectarines-sold-retail-stores-2022-and-2023>

2. カンタロープメロンに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Sundsvall および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイク (2023 年 11 月 30 日、24 日付更新情報)

Salmonella Outbreak Linked to Cantaloupes

Posted November 30 & 24, 2023

<https://www.cdc.gov/salmonella/sundsvall-11-23/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/sundsvall-11-23/details.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/salmonella/sundsvall-11-23/map.html> (Map)

米国疾病予防管理センター (US CDC) は、複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Sundsvall および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイクに関する更新情報を発表した。

2023 年 11 月 30 日付更新情報

疫学調査および検査機関での検査によるデータは、カンタロープメロンがサルモネラに汚染されており、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

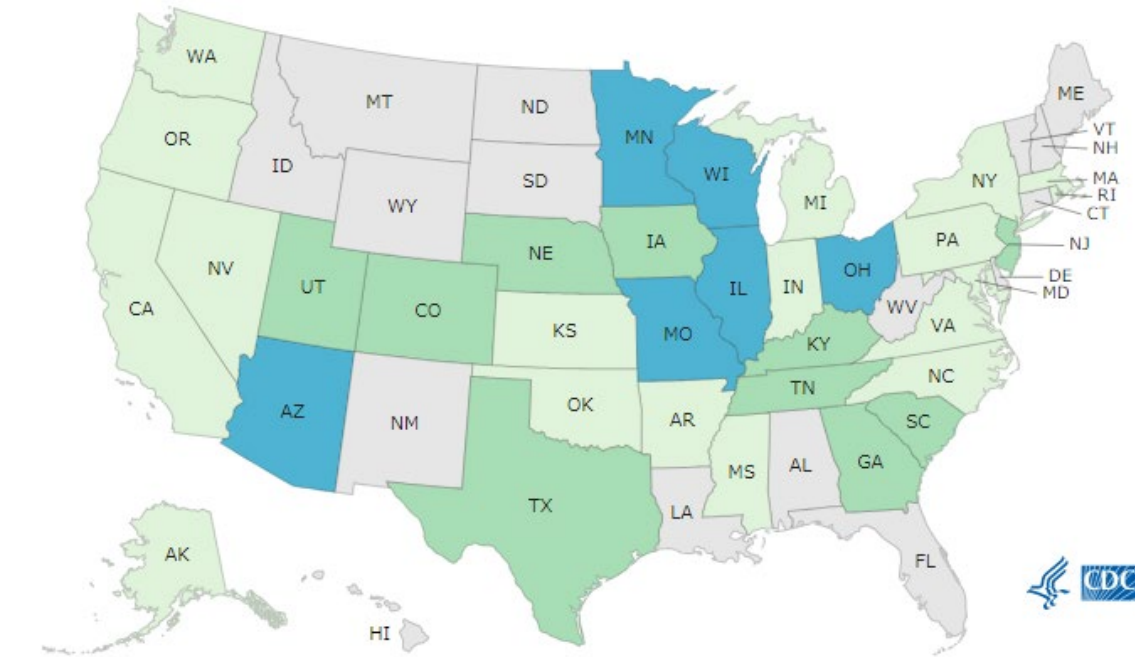
カナダの当局も本アウトブレイクを調査しており、カナダの患者が Malichita ブランドのカンタロープメロンに関連していることを特定した。

2023 年 11 月 24 日付更新情報以降に、カナダ食品検査庁 (CFIA) が Malichita ブランドのカンタロープメロン 1 検体から *S. Oranienburg* を検出したことを受け、米国疾病予防管理センター (US CDC) は、本アウトブレイクの新たな血清型として *S. Oranienburg* を調査対象に追加した。米国の患者 2 人が *S. Oranienburg* アウトブレイク株に感染した。

○ 疫学データ

2023 年 11 月 24 日付更新情報以降に新たに患者 18 人が報告され、サルモネラ (*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg*) アウトブレイク株のいずれかに感染した患者は、2023 年 11 月 28 日時点で 34 州から計 117 人が報告されている (図)。患者の発症日は 2023 年 10 月 17 日～11 月 14 日である。情報が得られた患者 103 人のうち 61 人 (59%) が入院した。ミネソタ州から死亡者 2 人が報告されている。

図：サルモネラ（*Salmonella* Sundsvall および *S. Oranienburg*）感染アウトブレイクの居住州別患者数（2023 年 11 月 28 日時点の計 117 人）



Number of Sick People



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（n は当該情報が得られた患者の数）。

年齢（n=115）	年齢範囲：1 歳未満～100 歳 年齢中央値：64 歳 5 歳以下：29% 65 歳以上：50%
性別（n=116）	59%【編者注：原文は 590%】：男性 41%：女性
人種（n=100）	85%：白人 11%：アフリカ系アメリカ人または黒人 3%：アジア系 1%：複数の人種

民族 (n=99)	87% : 非ヒスパニック系 13% : ヒスパニック系
-----------	---------------------------------

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 52 人のうち 40 人 (77%) がカンタロープメロンの喫食を報告した。この割合は、過去に実施された FoodNet の住民調査 (以下 Web ページ参照) において、回答者の 19.6% が調査実施日前 1 週間にカンタロープメロンを喫食したと報告した結果と比べ有意に高い。FoodNet のこの住民調査は下痢症に関連した様々な食品の喫食率の推定に役立っている。

<https://www.cdc.gov/foodnet/surveys/population.html>

本アウトブレイク調査においてカンタロープメロンの喫食を報告した患者 40 人のうち、19 人がカット済みカンタロープメロンの喫食を報告し、11 人がホール (丸ごと) のカンタロープメロンの喫食を報告した。

患者 14 人は発症時に長期介護施設に居住していた。聞き取り調査が行われた 6 人のうち 4 人がカンタロープメロンの喫食を報告した。

小児患者 7 人は発症時に保育施設に通所していた。情報が得られた小児 6 人は全員が、カンタロープメロンを喫食していたか、喫食していた可能性があった。

○ 検査機関での検査データ

患者由来 117 検体から分離されたサルモネラ株について実施された全ゲノムシーケンシング (WGS) 解析の結果、抗生物質耐性の存在は予測されなかった。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/index.html>

○ 公衆衛生上の措置

2023 年 11 月 24 日付更新情報以降に新たに以下の 3 件の回収が発表された。

- ・ 2023 年 11 月 27 日、Kwik Trip 社は、カット済みカンタロープメロンおよびフルーツミックスの回収を発表した (以下 Web ページ参照)。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/kwik-trip-inc-recalls-specific-fruit-cups-and-trays-due-potential-salmonella-contamination>

- ・ 11 月 28 日、Bix Produce 社は、カップ入りカットフルーツ製品の回収を発表した (以下 Web ページ参照)。

<https://www.globenewswire.com/news-release/2023/11/28/2787068/0/en/Bix-Produce-Issues-Safety-Alert-on-Cut-Cantaloupe-Products-Due-to-Potential-Salmonella-Contamination.html>

- ・ 11月29日、GHGA社は、小売チェーン「Kroger」、「Sprouts Farmers Market」および「Trader Joe's」で販売されたカット済みカンタロープメロン製品の回収を発表した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/ghga-llc-coordination-sofia-produce-llc-dba-trufresh-voluntarily-recalls-select-fresh-cut-fruit>

CDC は、回収対象の果物、および Malichita ブランドまたは Rudy ブランドのカンタロープメロンが使用されているかどうか確認できないカット済みカンタロープメロンについて、喫食しないよう消費者に注意喚起している。CDC はまた、長期介護施設、保育施設、病院、およびサルモネラ症の重症化リスクが高い人が利用するその他の施設に対しても注意喚起を行っており、回収対象の果物、および Malichita ブランドまたは Rudy ブランドのカンタロープメロンが使用されているかどうか確認できないカット済みカンタロープメロンは提供しないよう助言している。

2023 年 11 月 24 日付更新情報

疫学調査および検査機関での検査によるデータは、カンタロープメロンがサルモネラに汚染されており、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

カナダの当局も本アウトブレイクを調査しており、同一のサルモネラ株に感染したカナダの患者がカンタロープメロンに関連していることを特定した。

○ 疫学データ

サルモネラ (*Salmonella* Sundsvall) アウトブレイク株に感染した患者は、2023 年 11 月 17 日付初発情報以降に新たに 56 人が報告され、2023 年 11 月 24 日時点で計 99 人が 32 州から報告されている。患者の発症日は 2023 年 10 月 17 日～11 月 10 日である。情報が得られた患者 77 人のうち 45 人が入院した。ミネソタ州から死亡者 2 人が報告されている。

公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（n は当該情報が得られた患者の数）。

年齢 (n=97)	年齢範囲：1 歳未満～100 歳 年齢中央値：62 歳
性別 (n=98)	60%：男性 40%：女性
人種 (n=75)	88%：白人 9%：アフリカ系アメリカ人または黒人

	1%：アジア系 1%：複数の人種
民族（n=73）	86%：非ヒスパニック系 14%：ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 33 人のうち 29 人（88%）がカンタロープメロンの喫食を報告した。この割合は、過去に実施された FoodNet の住民調査（以下 Web ページ参照）において、回答者の 19.6%が調査実施日前 1 週間にカンタロープメロンを喫食したと報告した結果と比べ有意に高い。FoodNet のこの住民調査は下痢症に関連した様々な食品の喫食率の推定に役立っている。

<https://www.cdc.gov/foodnet/surveys/population.html>

○ 検査機関での検査データ

患者由来 89 検体から分離されたサルモネラ株について実施された全ゲノムシーケンシング（WGS）解析の結果、抗生物質耐性の存在は予測されなかった。抗生物質耐性に関する詳細情報は、米国疾病予防管理センター（US CDC）の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム（NARMS）の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/index.html>

○ 公衆衛生上の措置

2023 年 11 月 22 日、カンタロープメロン（ホールおよびカット済み）の回収対象が拡大された。Trufresh 社は回収対象を再び拡大し、Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのすべてのカンタロープメロン（ホール）を回収対象に追加した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/sofia-produce-llc-dba-trufresh-expands-recall-include-all-malichita-brand-and-rudy-brand-fresh>

Crown Jewels 社は、Malichita ブランドのカンタロープメロン（ホール）の回収を開始した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/crown-jewels-produce-recalls-malichita-z-farms-label-whole-cantaloupes-because-possible-health-risk>

CF Dallas 社は、回収対象のカンタロープメロンを使用したカット済みフルーツ製品の回収を開始した（以下 Web ページ参照）。

<https://www.fda.gov/safety/recalls-market-withdrawals-safety-alerts/cf-dallas-llc-coordination-sofia-produce-llc-dba-trufresh-voluntarily-recalls-select-fresh-cut-fruit>

CDC は、回収対象の果物を喫食・販売・提供しないよう注意喚起している。

(食品安全情報(微生物) 本号 PHAC、No.24/2023 (2023.11.22) US CDC、PHAC 記事参照)

● カナダ公衆衛生局 (PHAC: Public Health Agency of Canada)

<https://www.phac-aspc.gc.ca/>

公衆衛生通知 : Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンに関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイク (2023 年 12 月 1 日、11 月 24 日、22 日付更新情報)

Public Health Notice: Outbreak of *Salmonella* infections linked to Malichita and Rudy brand cantaloupes

December 1, November 24 & 22, 2023 - Update

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notice/2023/outbreak-salmonella-infections-malichita-cantaloupes.html>

カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、カンタロープメロンに関連して発生しているサルモネラ (*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイクに関する更新情報を発表した。

2023 年 12 月 1 日付更新情報

カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、連邦・州の公衆衛生当局、米国疾病予防管理センター (US CDC) および米国食品医薬品局 (US FDA) と協力し、カナダの 6 州 (ブリティッシュ・コロンビア、オンタリオ、ケベック、プリンス・エドワード・アイランド、ニューブランズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール) にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイクを調査している。

現在までの調査結果にもとづき、可能性の高い感染原因として Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンの喫食が特定されている。多数の患者が、発症前にカンタロープメロンを喫食したことを報告した。

患者の大多数が 5 歳以下の小児または 65 歳以上の成人である。また、一部の患者が長期介護施設に居住していること、および多くの患者が保育施設に通所していることが報告された。

2023 年 11 月 1 日、14 日および 17 日にカナダ食品検査庁 (CFIA) は、2023 年 10 月 11 日～11 月 14 日に販売された Malichita ブランドのカンタロープメロンに関する食品回収警報を発出した。CFIA は 2023 年 11 月 24 日に食品回収警報を更新し、2023 年 10 月 10 日～11 月 24 日に販売された Rudy ブランドのカンタロープメロンを対象に追加した。これらの製品は、アルバータ、ブリティッシュ・コロンビア、マニトバ、ニューブランズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール、ノバスコシア、オンタリオ、プリンス・エドワード・アイランド、ケベックの各州に出荷されたほか、これら以外の州・準州にも出荷された可能性がある。また、これらのカンタロープメロンを原材料として使用した製品、およびこれらのカンタロープメロンと近接した製造ラインで加工された製品についても回収が発表された。これには、ハネデューメロン、パイナップル、スイカなどのその他の果物や各種フルーツ盛り合わせ製品が含まれる。

CFIA は食品安全調査を継続しており、これにより他の製品が回収対象に追加される可能性がある。その場合は CFIA が新たな食品回収警報を発出し、消費者に通知が行われる予定である。回収対象製品に関する詳細情報は、CFIA の以下の Web ページから入手可能である。

<https://recalls-rappels.canada.ca/en/alert-recall/malichita-brand-and-rudy-brand-cantaloupes-recalled-due-salmonella>

健康被害を防ぐため、以下の製品の喫食・提供・使用・販売・供給を行うべきでない。

- ・ Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロン
- ・ Malichita ブランドまたは Rudy ブランドのカンタロープメロンを使用したすべての製品
- ・ すべての回収対象製品

ブランド名が確認できないカンタロープメロンおよび回収対象製品は廃棄すべきである。この助言は、カナダ全土の消費者、小売業者、流通業者、製造業者、ホテル・飲食店・カフェテリアなどの食品提供施設、および病院・長期介護施設・保育所などの施設が対象である。

○ 調査の概要

2023 年 12 月 1 日までに、本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Sohanina*、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg* 感染が確定した患者が 6 州から計 66 人報告されており、州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア (13 人)、オンタリオ (13)、ケベック (35)、プリンス・エドワード・アイランド (2)、ニューブランズウィック (1) およびニューファンドランド・ラブラドール (2) である。これらの患者の他にも複数のサルモネラ感染患者が調査されており、本アウトブレイクに関連してさらなる患者が特定される可能性がある。本アウトブレイクの患者の発症日は 2023 年 10 月中旬～11 月中旬である。患者 19 人が入

院した。死亡者 1 人が報告された。患者の年齢範囲は 0～100 歳である。患者の大多数が 5 歳以下の小児（39%）または 65 歳以上の成人（39%）である。患者の 50%が男性である。

CFIA による調査の結果、Malichita ブランドの回収対象のカンタロープメロン複数検体からサルモネラアウトブレイク株が検出された。

US CDC も、カンタロープメロンに関連して米国で発生しているサルモネラ感染アウトブレイクを調査しており、その原因株はカナダの本アウトブレイクの患者由来株と遺伝学的に同一の株である。

2023 年 11 月 24 日付更新情報

カナダ公衆衛生局（PHAC）は、連邦・州の公衆衛生当局、米国疾病予防管理センター（US CDC）および米国食品医薬品局（US FDA）と協力し、カナダの 5 州（ブリティッシュ・コロンビア、オンタリオ、ケベック、プリンス・エドワード・アイランド、ニューファンドランド・ラブラドール）にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Soahanina、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg*) 感染アウトブレイクを調査している。

現在までの調査結果にもとづき、可能性の高い感染原因として Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロンの喫食が特定されている。多数の患者が、発症前にカンタロープメロンを喫食したことを報告した。

2023 年 11 月 1 日、14 日および 17 日にカナダ食品検査庁（CFIA）は、2023 年 10 月 11 日～11 月 14 日に販売された Malichita ブランドのカンタロープメロンに関する食品回収警報を発出した。CFIA は 2023 年 11 月 24 日に食品回収警報を更新し、2023 年 10 月 10 日～11 月 24 日に販売された Rudy ブランドのカンタロープメロンを対象に追加した。これらの製品は、アルバータ、ブリティッシュ・コロンビア、マニトバ、ニューブランズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール、ノバスコシア、オンタリオ、プリンス・エドワード・アイランド、ケベックの各州に出荷されたほか、これら以外の州・準州にも出荷された可能性がある。また、これらのカンタロープメロンを原材料として使用した製品、およびこれらのカンタロープメロンと近接した製造ラインで加工された製品についても回収が発表された。これには、ハネデューメロン、パイナップル、スイカなどのその他の果物や各種フルーツ盛り合わせ製品が含まれる。

CFIA は食品安全調査を継続しており、これにより他の製品が回収対象に追加される可能性がある。その場合は CFIA が新たな食品回収警報を発出し、消費者に通知が行われる予定である。回収対象製品に関する詳細情報は、CFIA の以下の Web ページから入手可能である。

<https://recalls-rappels.canada.ca/en/alert-recall/malichita-brand-cantaloupes-recalled-due-salmonella>

健康被害を防ぐため、以下の製品の喫食・提供・使用・販売・供給を行うべきでない。

- Malichita ブランドおよび Rudy ブランドのカンタロープメロン

- ・ **Malichita** ブランドまたは **Rudy** ブランドのカンタロープメロンを使用したすべての製品
- ・ すべての回収対象製品

ブランド名が確認できないカンタロープメロンおよび回収対象製品は廃棄すべきである。この助言は、カナダ全土の消費者、小売業者、流通業者、製造業者、ホテル・飲食店・カフェテリアなどの食品提供施設、および病院・長期介護施設・保育所などの施設が対象である。

○ 調査の概要

2023 年 11 月 24 日までに、本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Soahanina*、*S. Sundsvall* および *S. Oranienburg* 感染が確定した患者が 5 州から計 63 人報告されており、州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア (12 人)、オンタリオ (12)、ケベック (35)、プリンス・エドワード・アイランド (2) およびニューファンドランド・ラブラドル (2) である。これらの患者の他にも複数のサルモネラ感染患者が調査されており、本アウトブレイクに関連してさらなる患者が特定される可能性がある。本アウトブレイクの患者の発症日は 2023 年 10 月中旬～11 月中旬である。患者 17 人が入院した。死亡者 1 人が報告された。患者の年齢範囲は 0～100 歳である。患者の 51%が男性である。

CFIA による調査の結果、**Malichita** ブランドの回収対象のカンタロープメロン複数検体からサルモネラアウトブレイク株が検出された。

US CDC も、カンタロープメロンに関連して米国で発生しているサルモネラ感染アウトブレイクを調査しており、その原因株はカナダの本アウトブレイクの患者由来株と遺伝学的に同一の株である。

2023 年 11 月 22 日付更新情報

カナダ公衆衛生局 (PHAC) は、連邦・州の公衆衛生当局、米国疾病予防管理センター (US CDC) および米国食品医薬品局 (US FDA) と協力し、カナダの 5 州 (ブリティッシュ・コロンビア、オンタリオ、ケベック、プリンス・エドワード・アイランド、ニューファンドランド・ラブラドル) にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella Soahanina* および *S. Sundsvall*) 感染アウトブレイクを調査している。

これまでの調査結果にもとづき、可能性の高い感染原因として **Malichita** ブランドのカンタロープメロンの喫食が特定されている。一部の患者が、発症前にカンタロープメロンを喫食したことを報告した。

2023 年 11 月 1 日および 14 日にカナダ食品検査庁 (CFIA) は、2023 年 10 月 11 日～11 月 14 日に販売された **Malichita** ブランドのカンタロープメロンに関する食品回収警報を発出した。当該製品は、アルバータ、ブリティッシュ・コロンビア、マニトバ、ニューブラ

ンズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール、ノバスコシア、オンタリオ、プリンス・エドワード・アイランド、ケベックの各州に出荷されたほか、これら以外の州・準州にも出荷された可能性がある。また、当該製品を原材料として使用した製品、および当該製品と近接した製造ラインで加工された製品についても回収が発表された。これには、ハネデューメロン、パイナップル、スイカなどのその他の果物や各種フルーツ盛り合わせ製品が含まれる。回収対象製品に関する詳細情報は、CFIA の以下の Web ページから入手可能である。

<https://recalls-rappels.canada.ca/en/alert-recall/malichita-brand-cantaloupes-recalled-due-salmonella>

CFIA は食品安全調査を継続しており、これにより他の製品が回収対象に追加される可能性がある。その場合は CFIA が新たな食品回収警報を発出し、消費者に通知が行われる予定である。

健康被害を防ぐため、Malichita ブランドのカンタロープメロン、これを使用した製品、および今回の回収対象のその他の製品の喫食・提供・使用・販売・供給を行うべきでない。ブランド名が確認できないカンタロープメロンおよび回収対象製品は廃棄すべきである。この助言は、カナダ全土の消費者、小売業者、流通業者、製造業者、ホテル・飲食店・カフェテリアなどの食品提供施設、および病院・長期介護施設・保育所などの施設が対象である。

○ 調査の概要

2023 年 11 月 22 日までに、本アウトブレイクに関連して検査機関で *S. Soahanina* および *S. Sundsvall* 感染が確定した患者が 5 州から計 26 人報告されており、州別の内訳は、ブリティッシュ・コロンビア（7 人）、オンタリオ（7）およびケベック（8）、プリンス・エドワード・アイランド（2）およびニューファンドランド・ラブラドール（2）である。これらの患者の他にも複数のサルモネラ感染患者が調査されており、本アウトブレイクに関連してさらなる患者が特定される可能性がある。本アウトブレイクの患者の発症日は 2023 年 10 月中旬～11 月上旬である。患者 6 人が入院した。死亡者は報告されていない。患者の年齢範囲は 0～100 歳である。患者の 54%が女性である。

CFIA による調査の結果、Malichita ブランドの回収対象のカンタロープメロン 1 検体からサルモネラアウトブレイク株が検出された。

US CDC も、カンタロープメロンに関連して米国で発生している *S. Sundsvall* 感染アウトブレイクを調査しており、その原因株はカナダの本アウトブレイクの患者由来株と遺伝学的に同一の株である。

（食品安全情報（微生物）本号 US CDC、No.24/2023（2023.11.22）US CDC、PHAC 記事参照）

● 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<https://www.ecdc.europa.eu/en>

欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

<https://www.efsa.europa.eu/en>

欧州連合 (EU) 域内のヒト、動物および食品由来の人獣共通感染症細菌と指標細菌の抗菌剤耐性に関する年次要約報告書 (2019/2020 年)

The European Union Summary Report on Antimicrobial Resistance in zoonotic and indicator bacteria from humans, animals and food in 2019–2020

Published: 29 Mar 2022

https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/efs2_7209_Rev2.pdf (ECDC 報告書 PDF)

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/european-union-summary-report-antimicrobial-resistance-zoonotic-and-indicator-6> (ECDC サイト)

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/j.efsa.2022.7209> (EFSA 報告書 PDF)

<https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/7209> (EFSA サイト)

欧州食品安全機関 (EFSA) および欧州疾病予防管理センター (ECDC) は、欧州連合 (EU) 域内のヒト・動物・食品由来の人獣共通感染症細菌および指標細菌の抗菌剤耐性 (AMR) について EU 加盟国が毎年収集しているデータを共同で解析し、年次要約報告書を発表している。EU 域内の動物・食品に関して毎年行っている AMR モニタリングでは、その報告年ごとに特定の動物種を対象としている。2020 年のモニタリングでは家禽とそのとたい／家禽肉が、2019 年のモニタリングでは肥育ブタ・1 歳未満のウシとこれらのとたい／食肉が対象とされた。2019～2020 年の AMR モニタリング結果の報告には、サルモネラ、カンピロバクターおよび指標大腸菌の分離株に関するデータ、および大腸菌の基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ (ESBL) /AmpC 型 β ラクタマーゼ (AmpC) /カルバペネマーゼ (CP) 産生推定株に特化したモニタリングで得られたデータが含まれた。また、動物・食品におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) に関するデータを任意で提出した国、抗菌剤感受性に関するデータを提出した国がどちらも複数あった。本報告書は、モニタリングの対象となった主な食料生産動物・とたい／食肉・ヒトについて、2019～2020 年に行われた AMR に関する統一モニタリングの結果の概要である。サルモネラおよび「ESBL/AmpC/CP」表現型を示す大腸菌の場合と同様に、可能な場合は、多剤耐性、対象のすべ

での抗菌剤に対する感受性、および極めて重要な特定の抗菌剤に関する共耐性パターンに重点を置いて、ブタ・子牛・ブロイラー・産卵鶏・七面鳥・とたい／食肉・ヒトに関するモニタリングデータの EU 規模での統合と比較が行われた。食料生産動物の AMR に関する重要な成果指標、たとえば統一パネルの抗菌剤すべてに対して感受性である大腸菌株や ESBL／AmpC 産生大腸菌株の割合などが、2014～2020 年にわたり詳細に解析されている。

(食品安全情報(微生物) No.12 / 2022 (2022.06.08)、No.15 / 2021 (2021.07.21)、No.10 / 2020 (2020.05.13) ECDC/EFSA、No.14 / 2019 (2019.07.10) EFSA、No.10 / 2018 (2018.05.09) ECDC/EFSA、No.7 / 2017 (2017.03.29)、No.5 / 2016 (2016.03.02)、No.10 / 2014 (2014.05.14)、No.13 / 2013 (2013.06.26)、No.7 / 2012 (2012.04.04)、No.15 / 2011 (2011.07.27)、No.11 / 2010 (2010.05.19)、No.25 / 2009 (2009.12.02)、No.1 / 2008 (2008.01.07)、No.2 / 2008 (2008.01.16)、No.24 / 2006 (2006.11.22)、No.1 / 2006 (2006.01.06) EFSA 記事参照)

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2023 年 11 月 14 日～27 日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

イタリア産家禽肉製品のサルモネラ属菌、アイルランド産冷凍加熱済みカニ (*Necora puber*)

のサルモネラ、フランス産ゴートチーズの志賀毒素産生性大腸菌、チェコ産鶏卵表面のサルモネラ (*S. Infantis*)、ポーランド産(オランダ経由)冷凍家禽肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、フランス産加熱済み七面鳥肉(ロースト・保存処理済み)の微生物汚染リスク、ポーランド産家禽肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ポーランド産パセリの葉のサルモネラ属菌、アイルランド産イガいのサルモネラ、フランス産ヤギ生乳チーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、オランダ産冷凍鶏ひき肉のサルモネラ (*S. Paratyphi B*)、フランス産パン粉付き家禽肉カツレツのリステリア (*L. monocytogenes*)、フランス産牡蠣のノロウイルスによるスウェーデンの食品由来アウトブレイクの疑い、イタリア産の生サلامي(鹿肉使用)のベロ毒素産生性大腸菌、イタリア産冷凍鶏ドネルケバブ肉のサルモネラ、ポーランド産家禽肉ケバブのサルモネラ (*S. Infantis*)、ポーランド産冷凍鶏肉ケバブのサルモネラ属菌など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

ポーランド産冷蔵ブロイラー肉のサルモネラ (*S. Infantis*, 3/5 検体陽性)、ウクライナ産冷蔵鶏肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、アルバニア産タンポポの葉のサルモネラ属菌、オランダ産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、ウクライナ産大豆ミール(飼料)のサルモネラ属菌、スペイン産ドライソーセージのリステリア (*L. monocytogenes*)、ハンガリー産の生鮮七面鳥ひき肉のサルモネラ (*S. Stanley*)、スペイン産イガイの大腸菌(非 EHEC)、ポーランド産冷蔵家禽カット肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、オランダ産ゴートチーズサラダの志賀毒素産生性大腸菌など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

オランダ産砂糖漬け卵黄のサルモネラ属菌、ポーランド産(リトアニア経由)冷凍ブロッコリーの齧歯類(死んだネズミ)、デンマーク産菜種搾油粕のサルモネラ、ハンガリー産冷凍鴨むね肉のサルモネラ属菌、ドイツ産菜種ミールのサルモネラ (*S. Altona*)、ポーランド産大麦のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、フランス産チーズの志賀毒素産生性大腸菌、フランス産ヨーグルトの酵母菌とカビ、ホンジュラス産の生エビ尾のビブリオ (*V. vulnificus*) など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

トルコ産タヒニのサルモネラ属菌、ナイジェリア産ゴマ種子のサルモネラ (*S. Warnow*)、ウガンダ産ゴマ種子のサルモネラなど。

● アイルランド食品安全局（FSAI: Food Safety Authority of Ireland）

<https://www.fsai.ie/>

北アイルランド公務員組合（NIPSA）のストライキ実施を受けアイルランド食品安全局（FSAI）は北アイルランドに国境管理所経由で食品を輸入している全ての食品事業者向けに助言を発表

FSAI advice to all food businesses currently importing food through the Northern Ireland Border Control Post

30 OCTOBER 2023

<https://www.fsai.ie/news-and-alerts/latest-news/fsai-advice-to-all-food-businesses-currently-importing/>

アイルランド食品安全局（FSAI）は、公務員獣医師や食肉検査官などが所属する北アイルランド公務員組合（NIPSA : Northern Ireland public service alliance）の会員が 2023 年 10 月 30 日～11 月 3 日に労働争議（ストライキ）を行うとの通知を受けた。この NIPSA の会員である獣医師や検査官は、国境管理所（BCP）における動物由来食品の規制や認可施設での食肉の検査を行っている。

このストライキ行動は、国境管理所、フィールドオペレーション、認可と畜場、食肉処理施設、狩猟動物肉処理施設など全国の衛生検査・植物検疫施設において、北アイルランド農業環境農村地域省（DAERA）の VSAHG（Veterinary Service Animal Health Group）が公共サービスとして提供する公的検査やその他の公共業務などの遂行に影響を及ぼすことが予想される。

したがって、今回のストライキ行動は、北アイルランド BCP の混乱を招き、グレートブリテンを含む第三国からアイルランドでの販売用として到着する積み荷の公的検査の遂行能力に影響を及ぼす可能性がある。

○ アイルランドの輸入業者への潜在的な影響

代替経路としてアイルランドの BCP 経由で動物由来製品を輸入する予定の食品事業者（FBO）は、北アイルランドを含む欧州連合（EU）のすべての BCP と同一の輸入要件および規制の対象となる。輸入業者は TRACES システムを通じて必ず事前に適切な届出を行い、検査証明書などの関連書類を提出する必要がある。物品が BCP を通過する前にすべての共通衛生入域文書（CHED : Common Health Entry Documents）が認証されなければならない。

○ アイルランドのと畜場への潜在的な影響

今回のストライキ行動の結果として北アイルランドのと畜場が稼働できない場合、影響が生じる可能性がある。この場合、と畜用の動物が出荷されるとアイルランドのと畜場の処理頭数に影響が及ぶ可能性がある。と畜場は、必ず認可処理頭数の範囲内で関連規則に準拠した運営を行うべきである。

○ アイルランドの小売業者への潜在的な影響

普段は北アイルランドの BCP を利用して動物由来製品を輸入している小売業者が、今回のストライキ行動により代替経路の利用を検討する可能性がある。

○ 影響が生じない製品

今回のストライキ行動は、北アイルランドの BCP 経由で輸入された魚・水産製品や非動物由来食品には影響はないと考えられる。今回のストライキ行動に関連している職員は、これらの製品の輸入管理を行っていない。

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室